

記録映画◆戦後在日五〇年史

在日

The Story of Koreans in Postwar Japan

やがて時が来れば
どうしてこんな事があるのか
何んのために
こんな苦しみがあるのか
みんな分かるような気がするわ

—チエーホフ『三人姉妹』より—



解放から50年——。半世紀に及ぶ在日の軌跡を
「在日」の視点からつづる一大歴史叙事詩

製作●映画『戦後在日五〇年史』製作委員会
企画●在日韓国青年商工人連合会「指紋カードをなくせ! 1990年協議会」OH(オー)企画
プロデューサー●金昌寛 陣内直行 野口香織 監督●呉徳洙
撮影●本田茂 石倉隆二 篠田昇 録音●本田孜 辻陽一郎 東京サウンド企画 福島音響
助監督●金聖雄 音楽●野波美香 南滋子 ナレーター●原田芳雄
協力●アメリカ国立公文書館/プランケター文庫/第一生命/国立国会図書館/日本近代文学館/
津田塾大学図書館/中日映画社/日本映画新社/新井英一事務所/日本テレビ/学徒義勇軍ソウル同志会/
光州市立美術館/競ヶ湯温泉/在日大韓民国大使館/在日アメリカ大使館 16ミリカラー・特撮

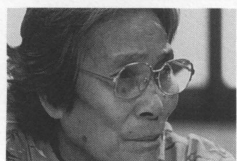
記録映画◆
戦後在日五〇年史

在日

The Story of Koreans
in Postwar Japan



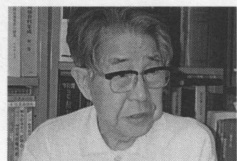
●映画『戦後在日五〇年史 [在日]』の
証言者たち(本編より一部抜粋)



「やはり思いはトンシルです
ね。統一になったら、うちの孝
子ちゃんが行ったり来たり出
来るもん」(鄭秉春 Cheong
Byoung Chung/在日一世)



「消しても消しても消せない
のが故郷。自分の生まれた所
は消せないんですよ、その有
り難みというか——」(朴雄
Ha Jeong Woong/在日二世)



「余にもいろいろなものが
多すぎて、何故このような状
況になったのか一度整理して
みる必要があると思う」(朴慶
植 Park Kyung Shick/朝鮮
近・現代史研究家)

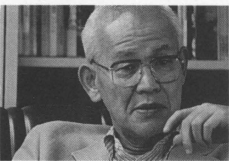
●解説●この映画『戦後在日五〇年史 [在日]』は解放から50年に及ぶ在日の歴史を映像化すべく企画された。いちやく「映画製作委員会」が結成され、製作費はすべて有志による貴重なカンパで賄われた。

製作に2年余りを費やしたこの映画のロケは北は青森、秋田から南は九州の佐賀、福岡、そして下関、広島、神戸、福井、長野にも及んだ。更にカメラは海外にも渡った。韓国はソウルでの「光復50周年祝賀式典」を活写し、急遽その足でワシントンDCに飛び、戦後史資料の宝庫といわれるアメリカ国立公文書館での貴重な資料撮影を敢行した。また、解放直後の在日朝鮮人の動向に深くかかわった元GHQ担当官たちの証言などをカメラは執拗に追う。そこから戦後の冷戦構造と南北「祖国」によって翻弄される在日像をあぶり出し、併せて「戦後の在日朝鮮人運動と日本の超国家主義」にまで内迫する。

また、この映画では在日の一世、二世、三世を象徴する人物をドキュメントしている。80歳を越えてなお、景品交換所を営み、波乱の戦後を生き抜いてきた済州島出身のハルモニ・鄭秉春。祖国「韓国」と出身地「秋田」双方を「ふたつの祖国」と慈しむ河正雄、

歌「清河への道」で自らの在日の彷徨と軌跡を見事に表現した新井英一、この二人は共にこの地で生をうけた在日二世である。さらに、テレビ局の報道カメラマンとして現場を駆けまわる玄稔日、陸上十種競技でオリンピック出場に希望を馳せる金尚龍、「にあんちゃん」の作者・安本末子の娘で、海外での農業を志す李玲子は母の故郷・大鶴炭鉱跡を訪ねる。彼等はみな次代をにう在日三世である。

この映画 [在日] は戦後50年のさまざまな事象を描写しながら、「在日の軌跡」を映像化するという壮大な試みに、初めて真正面から挑戦した作品である。



「在日の根本的悲劇の原因は
我々がかくありたいという主
観的願望とそれを成し得る主
体的能力とのギャップでし
よ?」(金奎一 Kim Kyu Il/在
日同期の生活を考える会代表)



「母の故郷には、「にあんちゃん」
に出てくる長屋の様子は
何も残ってなかった。私は
母の生まれ故郷に立ち、心
の中で母を見つめていた」(李玲
子 Lee Ryeong Ja/在日三世)



「在日同胞の権益・権利運動
で、唯一勝ったのは指紋押捺
拒否の運動だと言えるくらい、
広範に日本社会の共感と支持
を得たんですよ」(韓宗碩 Han
Jong Seok/在日一世)



「北に向かってチェサをし、
拝み、声を出して哭く民族は
我々同胞ですよ! それを見た
場合この50年は何んやった
のか!」(朴憲行 Park Heon
Haeng/元兵庫建青盟員)



「ぼくたち小さい時から何か
につけてイビられてね、虐げ
られて、メメエら朝公が何ん
だと——」(金嬉老 Kim Hi Ro
/在日二世)

過去と
未来をつなぐ
在日の思い



「僕らがやってきたその何倍
もスゴいことを親たちはやっ
てきてますよね。その匂いを
少しでも「清河——」の中
につぎ込んで次の世代に残して
いきたかった」(新井英一 Park
Yeong Il/在日二世・歌手)

「関門海峡。その
昔、釜山と下関を
結ぶ開釜連絡船が
通っていた海峡
である。在日はこの
海峡から始まった」
(本編ナレーション
より)



「在日の人たちが何故こんな
に苦勞するのか、そのうちわ
かるんじゃない? そんな気
がする。今はわからないよ、
あまりにも渦中だもの」(呉徳
洙 Oh Duk Soo/映画監督)

●皆さんに映画『戦後在日五〇年史 [在日]』への協力を呼びかけます

飯尾憲士 石田玲子 一番ヶ瀬康子 内海愛子 江橋崇 大島渚 小沢有作 姜尚中 金敬得 金石範 金英達
倉田信靖 高二三 高英梨 コンスタン・ルイ 斎藤憐 佐藤信行 三階徹 清水澄子 辛基秀 高木健一 高柳俊男
田中宏 崔洋一 鄭甲寿 土本典昭 徳永五郎 新美隆 朴慶植 韓正夫 ピセンテ・ボネット 深沢夏衣 福田雅子
裴薫 裴重度 裴美善 逸見俊介 洪彦義 増井潤一郎 J・H・マッキングシュ 松下信之 松平忠晃 宮田浩人
文京洙 百瀬宏 伊學準 和田春樹 (五十音順・敬称略)

●お問い合わせ

映画『戦後在日五〇年史』製作委員会

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-12-11 幡ヶ谷コーポラス101号 ☎ FAX 03-3485-2935

全国初の劇場公開!!

4月25日(土)より 待望のロードショー

☆前売券1,800円発売中 (当日 一般2,000円 学生1,800円 シニア1,200円)

5月末日より京都みなみ会館、十三・第七芸術劇場、神戸アートビレッジセンターにて

順次ロードショーの予定

主催・配給: 『戦後在日五〇年史』製作委員会、映画『在日』関西上映委員会 配給・宣伝協力: アジア映画社、RCS、ソフトシューズ

フェスティバル・ゲート7F
動物園前 シネフェスタ
☎ 06 (647) 7188

各回完全入替制 10:30 2:40 6:50
上映時間 劇場版・3時間50分 (休憩10分含む)

